

＜フィールドパターン＞導入で図形を描く

記入日：2015年6月30日
ネイチャーゲームインストラクター 早川広美

1. はじめに

「ゲーテ＝シュタイナー的植物観察」の講習会を受講した際に、スケッチブックに直線やらせん等の線描をしてから観察に出掛けたところ、植物の形や姿形に対する観察眼が深まった体験にヒントを得て、＜フィールドパターン＞に応用できないか考えました。

2. 当日の実践内容

川崎市内の児童館での活動（小学校低学年）で＜フィールドパターン＞を行う際の導入として、画用紙にクレヨンで図形を描きました。描いたのは、直線・波線・ギザギザ線・円形・渦巻き・四角・ハート・放射の8種類です。描く際は、直線から徐々に波線にしていくなどの動きを出すように、あるいは大きいものから次第に小さく描いていく、などリズム感も取り入れました。

そのあと＜フィールドパターン＞で同じ形を探しました（2014年7月実践）。

3. 成果と課題

子どもたちは自然の中にあるこれらの形を次々に探し出しました。これまでの私の＜フィールドパターン＞実践時の経験と比較すると、「自然の中にある形」への認識や感性は、より優れていたものと思われ、この導入は効果的であったと考えています。

4. 本報告を参考にされる方へ

別の参加者（幼児～小学生親子）とフィールドで、画用紙にクレヨンで描く環境が無かったので空中に指先で図形を描いてみました。小さい丸から次第に大きい丸へ…など、体全体の動きを伴いましたが、中にはこうした身体の動きに戸惑い（大げさ、気恥ずかしいなど）を感じる参加者もいましたので、この場合は注意が必要だと思いました。

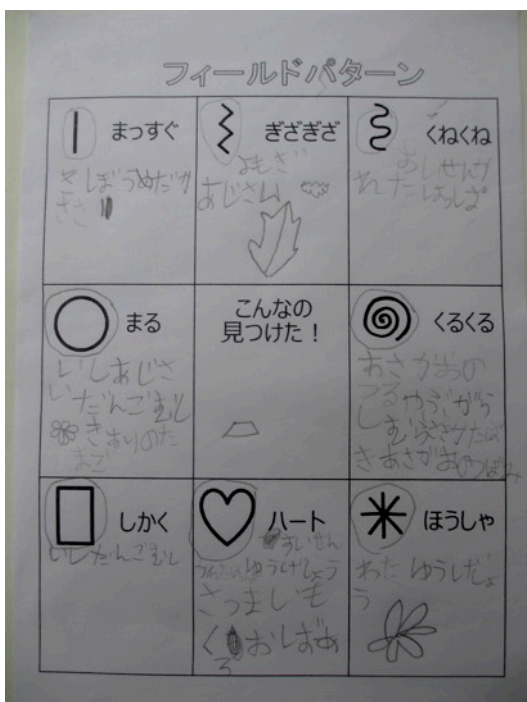
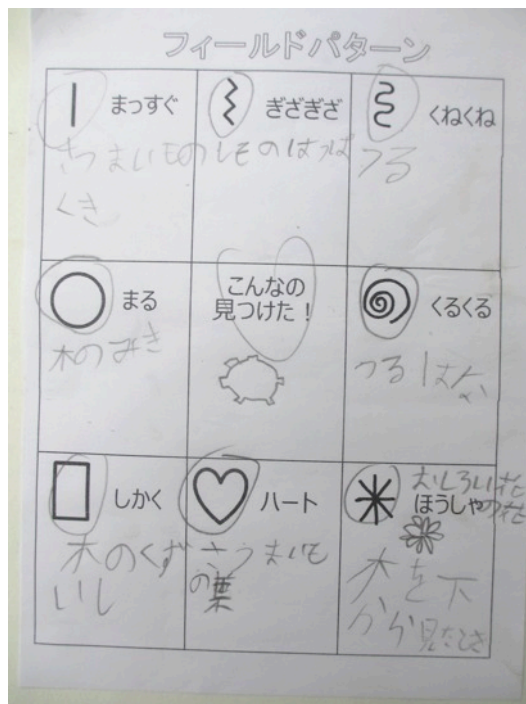
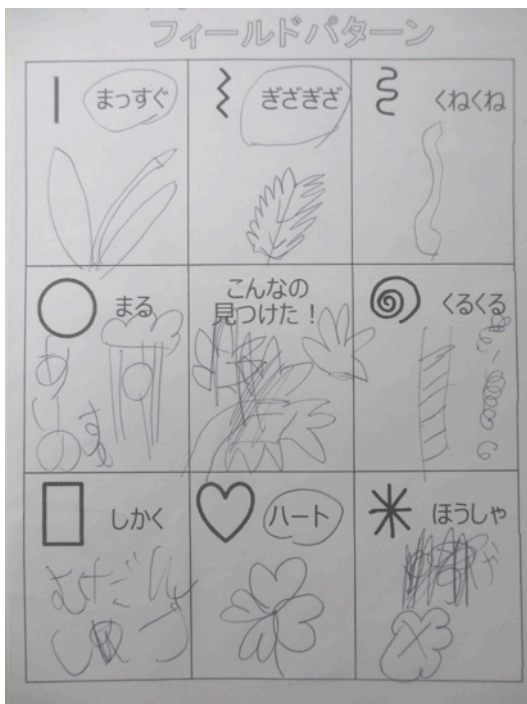
5. 活動写真



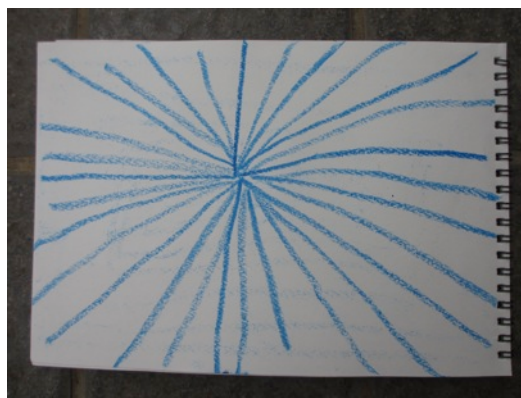
直線からギザギザ線へ



下から上に直線を描く



フィールドパターンのカード (上・左)



放射



渦巻き (くるくる)